

2月22日阪南市日中友好協会の春節会に参加して

見本重宏

本年も、中国の新年を祝う春節会が南海電車淡の輪駅にある池田泉州銀行研修所にて過去最大規模で盛大に開催され（47名参加、内留学生12名）、お招きを受け参加させて頂きました。

前回と大きな違いは、大阪府日中友好協会の地区協会の連携を深めるという意味で、府日中代表と共に堺市・岸和田市・熊取町の代表が参加され、お互いの活動に対して理解と刺激し合う会になったと思います。

懇親会前のイベントでは、当会新年会でもお招きした桂ひろば（桂ざこばの弟子）が約1時間の独演会を開きました。上方落語と江戸落語の違い、着物の着付け実演、留学生への小話指導、マジック等を交えた非常に盛り上がり笑いの絶えない春節に相応しい会となり、招待された留学生も日本の古典芸能に始めて触れ、非常に盛り上がり、阪南日中の地域及び会員の持ち味を生かした素晴らしい春節会となりました。

今回初めてお会いした、府日中梶本副会長（元副知事）、堺市曾我部会長、岸和田市武井会長、熊取町林会長と関西日中の説明や懇談を深めました。来賓の締め挨拶に指名され、「当会の説明、昨年10月関西日中と阪南日中共催で総領事館・中国国家観光局を招き秋祭りを楽しむ会の趣旨説明と共に泉州地域を盛り上げる為各地区協会と連携を深めたい」旨を語りました。

当日持参した小説「翼よよみがえれ！」は、和歌山外国語専門学校に寄贈し、70年前の敗戦時にこの様な日本兵士が沢山いた史実の理解を深め、活用して欲しいとお願いしました。山本先生は、「全く知らない」先ずは私が読み、若い先生方に回覧するとの返事でした。また、府日中の梶本副会長には購入させて頂きました。

食事会では高級和歌山牛の霜降り肉を使った、お馴染みの“すき焼き”を賞味させて頂き、更にビール・日本酒・焼酎などで乾杯の繰返し、今年も“びんご大会”で大盛況でした。途中で、参加された留学生全員の自己紹介があり、春節を祝い楽しんでいました。

最後に、阪南日中北村副会長の締め挨拶で春節会は閉会となりました。

